

豊田市立広川台小学校で防災講座を行いました

7月10日（水）、豊田市立広川台小学校で5年生56名に防災講座を行いました。

豊田市を襲った47年7月豪雨災害や東海豪雨、豊田市内の学校が休校となった令和5年6月2日の線状降水帯による大雨など過去に発生した水害を学習しました。

また、豊田市役所には、想定浸水深15.3mの看板が庁舎の壁面に掲示されており、その浸水の深さに驚いていました。

ハザードマップは、総合的な学習の時間で勉強したことから、多くの児童が想定浸水深まで確認しており、東海豪雨もすでに4年生で学習し、防災教育がしっかり根付いている様子が伺えました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、災害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

